

山行報告書

作成:2006年11月20日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	藤尾山(207m) [田原]	目的[方法]	親睦山行
期間	2006年11月19日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	5人		

行動記録:

11月19日(日) 曇りのち小雨、微風、13

滝頭公園PKG(905) -0:08- 貯水槽(913) -0:06- 折返点(919) -0:13- クチナシ登山口(932) -0:25- 稲荷山[赤松山](957) -0:08- 不動山(1005) -0:10- 迷い尾根の頭(1015,1025) -0:05- 藤尾山分岐(1030) -0:06- 藤尾山(1036,1107) -0:21- 林道交差(1128) -0:07- 西の覗(1135) -0:07- 滝頭山(1142,1148) -0:15- 不動滝(1203,1211) -0:14- 滝頭不動PKG(1225) -0:10- 滝頭公園PKG(1235)

概念図:



日誌:

滝頭公園から稲荷山への登山口を見誤り、登山口手前のゲートを跨いで進んで行く。貯水槽まで緩やかに登り、過ぎると緩やかに降り、山腹を東南東にどんどん進む。折返点から先は更に降っている。流石にここまで来ると、稲荷山へのルートと異なることに気付く。ゲートまで戻り、舗装道路を更に100mほど進むと、クチナシコース登山口の標識が見つかった。

ハイキングコースなので歩き易い登山道である。ガイドブックで稲荷山(193m)となっている山頂には「赤松山」の標識があった。迷い尾根の頭はその名の通り、進路に悩む箇所である。藤尾山分岐と勘違いするからである。東に延びる尾根を藤尾山へのコースと考えてしまうからだ。メンバーの意見が割れたので、それぞれのコースに下見を出す。東に延びる尾根を下見した者から右手にピーク(藤尾山)が見えたと報告を受ける。右手コースからは少し降った処に「藤尾山へ」の道標があると報告を受ける。全員納得して右手コースに進む。程なく、藤尾山分岐(三叉路)にでる。

後のコースは一本道で特に迷うところはなかったので割愛する。

感想:

読図の基本は現在地を納得するまで確認すること、確信持てなければ下見を出すこと、分岐は右か左かではなく、進むべき方向で確信することである。また、間違いに気付いた場合は、必ず正しい地点まで引き返すことである。